



上のチャートは1から2ppmにピークが観測されます。化学シフト値よりメチル基及びアミノ基のプロトンであることが推測されます。一方下のチャートでは重水中で測定しました。すると上図で観測できる1.88ppmのピークが消失しています。

これにより上図で観測された1.80ppmのピークが構造の丸で囲んだNHであることがわかります。例のようなシンプルな構造より複雑な場合にも利用でき、酸性プロトンや水ピークを消失させることにより見やすくなり、またピーク帰属の判断材料にもなります。